

授業科目 社会福祉援助技術総論Ⅱ

【担当教員名】 村上信	対象学年	3	対象学科	社会
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：G I O>】

社会福祉の諸施策をサービス利用者にとって価値あるものにするために、福祉施策を具体化していく過程で不可欠なソーシャルワーク（社会福祉援助技術）に関する全体系を総合的に学ぶ。
 ソーシャルワークの総合化、対象別・分野別専門分化、チームワークおよびケアマネジメント、サポート・ネットワーク、エンパワーメントなど新しく開発され実践されている技法について学習する。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

1. ソーシャルワークの理論の動向と最近の理論の特質について説明できる。
2. ソーシャルワーク実践の視点と実践の展開過程を説明できる。
3. ソーシャルワーク援助技術の技法のうち、社会資源の活用、コミュニケーション技法、ソーシャルサポートについて説明できる。
4. ソーシャルワークの視点から事例を分析できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	理論の動向（1） 社会福祉のニーズに対応する理論の動向について学ぶ	1	講義
2	理論の動向（2） ライフモデルと生態学的視座について学ぶ	1	
3	理論の動向（3） システム理論とエコシステム理論について学ぶ	1	
4	理論の動向（4） エンパワーメント・アプローチと社会構成的アプローチについて学ぶ	1	
5	展開過程（1） ソーシャルワークの展開過程を理解する	2	
6	展開過程（2） アセスメントについて事例で学ぶ	2, 3	
7	展開過程（3） モニタリングと評価について事例で学ぶ。	2, 3	
8	ケアマネジメント ケアマネジメントの概念と構成要素について学ぶ	2, 3	
9	援助技術の技法（1） 社会資源とは何か、事例を用いて社会資源活用上の留意点を理解する	3	
10	援助技術の技法（2） コミュニケーション技術について学ぶ	3	
11	援助技術の技法（3） 専門的な援助関係とソーシャルサポートについて学ぶ	3	
12	事例検討 事例を等して援助技術の実践を学ぶ	4	
13	事例検討 事例を等して援助技術の実践を学ぶ	4	
14	まとめ		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	『社会福祉援助技術論Ⅰ』	福祉士養成講座編集委員会編集	中央法規	
	『社会福祉援助技術論Ⅱ』	福祉士養成講座編集委員会編集	中央法規	2004年版でも可
参考書	『社会福祉援助技術論(上)』	北島英治ほか編	ミネルヴァ書房	
	『社会福祉援助技術論(下)』	北島英治ほか編	ミネルヴァ書房	
その他の資料				

【評価方法】 出席状況と定期試験	【履修上の留意点】
---------------------	-----------

社会福祉学科
専門